

# かながわの交通

2023  
12月号

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)  
一般部門：運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの

## 「なにで来た？」乾杯前の合言葉



年末の交通事故防止運動等のポスター

### 道路の横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵！** 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう！

歩行者  
事故  
多発！

◎県内の交通事故発生概況(令和5年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和5年		19,745	104	23,155
令和4年		19,055	101	21,998
増減数		+690	+3	+1157
増減率		+3.6%	+3.0%	+5.3%

	総数	男	女
県人口	9,229,565	4,574,385	4,655,180
免許人口	5,673,198	3,212,567	2,460,631
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和5年11月1日、免許人口は令和5年10月末現在)



ホームページ

# 令和5年交通安全功労者表彰

～ 1,042人と213団体が受賞 ～

令和5年交通安全功労者表彰受賞者が決定しました。この表彰には、県知事表彰、県公安委員会表彰、県警察本部長表彰、県交通安全協会会长表彰などがあります。紙面の都合により県警察本部長と県交通安全協会会长の連名表彰受賞の方々を紹介します（敬称略）。

受彰者（団体）の皆様おめでとうございます。

神奈川県警察本部長  
神奈川県交通安全協会会长 ] 連名表彰



## 交通安全功労者(72人)

小島 智子	加賀町	白石 麻里子	鶴 見	鈴木 喜代治	港 北	石井 三郎	青 都	葉 築
小森 博行	山 手	板橋 由紀	保土ヶ谷	荒井 文夫	緑 緑	加藤 光代	幸彦 戸	登 戸
齋藤 一彦	山 手	戸高 和憲	旭	平本 良一	緑 緑	石井 相馬		
橋川 隆	戸 部	荻野 敏夫	港 北	松本 謙治郎	青 葉			

小久保 泰正	泉	島田 茂	宮 前	佐藤 学	多 摛	村山 正美	三 浦	市 市
相澤 曜三	瀬 谷	石川 幸夫	宮 前	原田 保	横 須賀	長嶋 清隆	三 浦	市 市
太田 文雄	高 津	田村 弘志	多 摩	西村 裕治	横 須賀	藤井 正男	三 浦	市 市
村松 孝次	高 津	秋葉 博	多 摩	加藤 陽一	横須賀南	服部 明雄	葉 山	町

相澤名通子	葉 山 町	鈴木 好子	藤 沢 市	中村 正美	藤 沢 北	小宮 勉	平 塚	市 市
山本 彬正	鎌 倉	武井 創	藤 沢 市	青木 等	藤 沢 北	高梨 晴重	平 塚	市 市
奥野 行平	大 船	野田 晴弘	藤 沢 北	山本 洋一	藤 沢 北	二見 高郎	平 塚	市 市
小笠原 巍	大 船	佐藤 俊幸	藤 沢 北	藤橋 秀実	平 塚 市	柏木 健一	平 塚	市 市

市川 岳雄	平 塚 市	芦川 昌男	秦 野 市	山口 美枝子	秦 野 市	笹生 孝	厚 木
板倉 政昭	平 塚 市	青木 一夫	秦 野 市	原 保治	伊 勢	保田 義一	大和綾瀬
古家 政雄	平 塚 市	北村 昇	秦 野 市	山口 公	伊 勢	高橋 和義	大和綾瀬
平之内 紀彦	平 塚 市	関口 清美	秦 野 市	佃 賢一	厚 木	木村 好夫	海老名市

有路 富夫	海老名市	安藤 和夫	相 模 原	小野 君子	相模原南	中島 達也	津 久 井
高橋 光雄	海老名市	廣田 幸一	相模原南	笠島 秀俊	相模原北	宮澤 正美	津 久 井

# ぶつかるよ ながら運転 事故のもと

## 優良運転者(90人)

斎藤 淳一	加賀町	石井 洋美	加賀町	遠藤 龍一	加賀町	寺井 茂良	加賀町
桑折 元	加賀町	佐藤 悟司	加賀町	海野 貴裕	加賀町	廣田 松夫	金沢
高田 徹	加賀町	亀田 幸春	加賀町	藤本 広	加賀町	桑原 弘	南
吉澤 修	加賀町	小野塚 究	加賀町	荒井 利和	加賀町	渡辺 淳	神奈川

飯田 圭一	保土ヶ谷	岡村 弘夫	青葉	林 忠	泉 泉	石山 繁吉	川崎
堅固山信夫	旭	金子 一夫	都筑	池田 正	泉 泉	渡辺 雅弘	幸
柾木 晴美	緑	衣川 秋夫	戸塚	土屋 美喜	泉 泉	矢島 紀明	幸
大中 佳子	青葉	中野 敬雄	栄	鈴木 明子	泉 泉	朝山 香	中原

大谷 正子	中原	田中 亘	中原	加藤 浩照	宮前	杉森 秀行	生賀
白井 良尚	中原	渡邊 尚起	高津前	黒澤 浩	多摩	安部 春男	横須賀
木村 勇人	中原	石渡 淳	宮前	富樫 友幸	多摩	岩本 弘毅	横須賀
伊藤 道博	中原	岡松 宏明	宮前	南 克尚	麻生	志村 禮子	横須賀

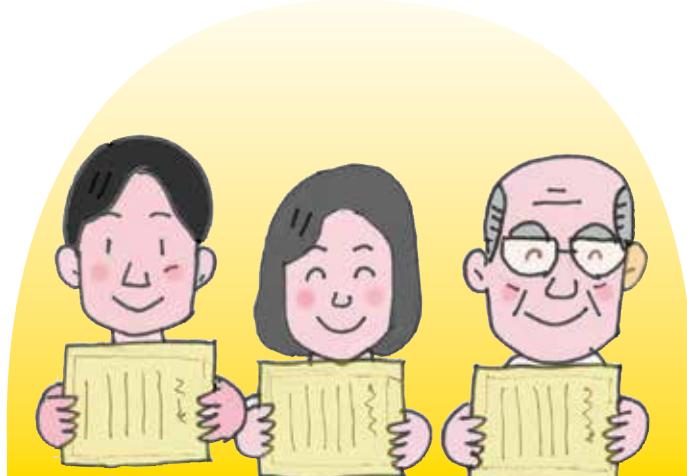
山田 典義	横須賀	村上 徳芳	横須賀南	小笠原知恵子	平塚市	稻毛 伸利	小田原
嘉山 勝美	横須賀	松本千代子	横須賀南	成瀬 孝二	平塚市	木村 克巳	小田原
薄 恭一郎	田浦	長田 孝一	鎌倉	柳井 信一	小田原	若生 敏雄	足柄
田口 満	横須賀南	小原 栄二	茅ヶ崎	高橋 一	小田原	小清水 文雄	足柄

猪爪 正司	足柄	大川 英二	厚木	小原 優一	大和綾瀬	山口 テル子	海老名市
本多 明美	秦野市	岩澤 茂	厚木	田中セツ子	海老名市	片田 安彦	海老名市
小松 宰児	秦野市	近藤 正人	厚木	鳴原 美保	海老名市	本田 次男	海老名市
久保谷 孝浩	秦野市	山口 高史	厚木	森田 壽	海老名市	橋本 勤	海老名市

門ノ沢 忠三	海老名市	時田 猛	相模原
池田 長正	海老名市	佐々木正満	相模原
本澤 圭二	海老名市	澤塚 孝子	津久井
川村 宏	海老名市	岩田ヒロ子	津久井
海本 朝子	海老名市	大塚 幹夫	津久井

## 令和5年交通安全功労者表彰受賞者

表彰者	種別	受彰者数	備考
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	48	
	交通安全功労者(団体)	14	
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10	
	交通安全功労者(団体)	10	
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(個人)	75	
	交通安全協力者(団体)	25	
	優良運転者(事業用)	102	
(公財)神奈川県交通安全協会会長	優良運転者(自家用)	53	
	交通安全功労者	72	
	優良運転者	90	
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	83	
	交通安全優良団体	22	
	優良運転者(20年)	84	
	優良運転者(15年)	195	
	交通安全功労者	14	
神奈川県警察本部長(連名) (一社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	優良安全運転管理者	29	
	優良運転者	39	
	安全運転管理優良事業所	66	
	優良安全運転管理者会	3	
	交通安全功労者	25	
(一社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	優良安全運転管理者	45	
	優良運転者	78	
	安全運転管理優良事業所	73	
	個人小計	1,042	
計	団体小計	213	
	合計	1,255	



# 令和5年度 年末の交通事故防止運動

## 実施期間

令和5年12月11日(月)～12月20日(水)の10日間

## 目的

年末は人流や交通量が増加する傾向にあり、例年歩行者や二輪車が関係する交通事故が多発していることから、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と交通マナーの徹底を呼び掛ける活動を通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

## スローガン

知らせ合う早めのライトと反射材  
無事故で年末笑顔で新年



## 運動の重点

### 1 横断歩行者（特に高齢者）の交通事故防止

- ・ 道路横断する際の安全確認を徹底しましょう。
- ・ 夜間の外出には、目につきやすい「明るい服装」や「反射材」を身に付けましょう。
- ・ 運転者は、高齢者と子どもの安全確保に努め、横断歩道における歩行者優先を徹底しましょう。

### 2 二輪車の交通事故防止

- ・ 二輪車を運転するときは、ヘルメットを正しく着用し、二輪車用プロテクターやエアバックジャケットを身に着けるとともに、夜間走行時は、反射材を効果的に活用しましょう。
- ・ カーブや下り坂などでは、スピードを控え、急ハンドルや急ブレーキをかけないような運転を心がけましょう。
- ・ 四輪車の運転者は、二輪車は車体が小さいため見落としやすく、遠くに感じるなどの、二輪車の特性に配意した運転に努めましょう。

### 3 飲酒運転の根絶

- ・ 「これくらいなら」、「少しの距離だから」という安易な気持ちが、一生かかっても償えないほど悲惨な事故を引き起こしますので、飲酒運転は絶対にやめましょう。
- ・ 車両を運転する人には、絶対に酒類を提供しないようにしましょう。

## ● ● ● ● ● 飲酒運転根絶強化月間実施中!! ● ● ● ● ●

12月中は飲酒運転根絶強化月間です。各地区交通安全協会では、悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を展開し、飲酒事故防止を呼びかけています。

## 飲酒運転の年別推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数	175	153	135	193	177	132	139	117	120
死者数	9	12	7	14	7	6	5	6	5
負傷者数	251	197	182	231	237	182	188	146	149



## 自転車安全教育指導員講習会

11月10日(金)藤沢市の県立辻堂海浜交通公園において、神奈川県自転車安全教育推進委員会の主催により、自転車安全教育指導員講習会が開催され、地区交通安全協会職員、交通指導員、市役所職員等25名が参加しました。

当日は、午前の講習で県警察交通安全教育隊から交通公園のコースを利用した、各地点における具体的な指導方法等の確認及びパワーポイントを使用した講習が行われ、午後は自転車の交通ルール、チリリン・スクールの等の実施要領等についての講義が行われました。

最後に、受講者に修了証が交付され、後日、受講者全員に認定証及び指導員バッヂが送付されます。



## 二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月17日(金)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00～)及び自転車安全教育推進委員会(15:00～)を開催しました。

両委員会とも小島委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明がありました。

続いて委員会事務局から、令和5年中の所管業務(二輪車安全運転講習会、第51回こども自転車神奈川県大会等)の取組状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る各種行事等を実施することが決定されました。



二輪車安全運転推進委員会



自転車安全教育推進委員会

### 令和6年度大会等開催予定

#### ① 第52回こども自転車神奈川県大会

令和6年6月22日(土) 寒川総合体育館

#### ② 二輪車安全運転講習会

運転免許センター、県下指定自動車教習所等(年間18回)

# 交通事故の悲劇に学ぶ ⑫

## ●「人の命を奪ってしまった」 M.T 建築業(30代)

私は今までテレビのニュースや警察24時等の番組で、飲酒運転による悲惨な交通事故の映像を觀ても「自分には関係ない」、「自分は事故を起こさない」と軽く考え常習的に飲酒運転を繰り返していました。

その結果、取り返しのつかない大事件を起こしてしまったのです。

それは、「明日から休みに入る」という日のことです。

私は仕事を終えて帰宅すると一人で居酒屋に出かけました。

これから飲みに行くのに、車で行くことに何の罪悪感も持たず、駅前のコインパーキングに車を停めました。

居酒屋ではビール2杯、ハイボール2杯を飲み、ほろ酔い気分になりましたが「車の中で休めば警察に捕まることはない」、「事故さえ起こさなければ大丈夫」と勝手に思い込んでいました。

そしてシートベルトを締め、エンジンを掛けると、よく知っている道だという安心感から、スピードを出して車を走らせました。

道幅は片側一車線でしたが街路灯もあり、視界も良かつたことから「事故など起こす場所ではない」と勝手に判断して、制限速度を30キロメートル以上もオーバーするスピードを出していました。

しばらくして、前を走っていた自転車に追いつき、それを追い越そうとすると、急に自転車が私の車の方に寄って来ました。

慌ててこれを避けようと、ハンドルを右に切りましたが避けきれず、左側フロントガラスで被害者を撥ねると、「ドーン」という大きな衝撃音が響き、フロントガラスはクモの巣状態に割れてしまいました。

私は咄嗟の出来事に気が動転してしまい被害者を救護することなく、その場から逃げてしまいました。

私は逃げている途中、事故の大きさからみて被害者は亡くなつたと思いました。

自宅まで必死に逃げて来ましたが、自宅の駐車場に停めたのでは警察に見つかると思い、職場の車庫に車を停めました。

そして、これからどうすればよいかを相談するため、職場の上司に電話をしました。

事情を聞いた上司は直ぐに職場に来て、近くの警察署に出頭するのに付き添ってくれました。

その後私は事故現場を管轄する警察署に連行され、取り調べを受けましたが、その際に被害者が亡

くなったことを知らされました。

私はこれまで、人の命を奪つてしまうことなど一度も考えたことがなく、まるで夢でも見ているようでした。

その後も取り調べが続き、私は狭い部屋に収容されました。

翌日には在宅起訴となりましたが、その間何度も、「私が死ねばよかった」と思い、自分の軽はずみな行動を悔みました。

私は在宅起訴になりましたが、御遺族には何一つ謝罪をしていません。今思えば情けないという後悔しかありません。

その後一年近く取り調べを受け、裁判では過失運転致死罪、道路交通法違反（酒気帯び運転・救護義務違反）で懲役4年の実刑判決を受けました。

被害者の未来を奪い、御遺族に大きな悲しみと苦痛を与えたことを考えれば、4年という量刑は短いと思いました。

私の起こした事故は、テレビ等でも報道されたので、マスコミなどが家に押し掛け、家族は外出するのが苦痛だったと思います。家族には本当に迷惑を掛けてしまいまいました。

また私の職場は、大手からの仕事が多く、私の名前も得意先に知られているので、職場にも苦情の電話が来たと上司から教えられました。

私の身勝手な行動から、尊い人の命を奪う重大事件を起こし、会社には多大な迷惑を掛けました。

それでも会社は私を解雇することなく支援をしてくれます。会社や人の温かみを知り、感謝の気持ちで一杯です。

私は、市原刑務所での教育改善プログラムを受ける中で、徐々に御遺族の心情に目を向けられるようになりました。

それでも、どう罪を償えばよいのか明確な答えは見つかっていません。出所してからが本当の意味での償いの始まりだと思っています。

そして、「一生をかけて償いたい」と決意しています。

今、私に出来ることは、私と同じ過ちが繰り返えされないようにすることです。

過ちを起こしてから、いくら後悔しても遅いのです。

私の私記を読んだ人に「自分本位の甘い考えが、人の命を奪う」という厳しい現実を伝えることができれば幸いです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第58集)」から～

この人  
212



磯子交通安全協会  
会長

むろい いさお  
室井 烈さん



磯子区は、昭和2年10月1日の区制施行により誕生した横浜市で最も古い区の一つで、横浜市の南東部に位置する南北に長い臨海区、根岸湾に面した平地と、それを囲むように広がる丘陵地からなり、その境には区の景観を特徴づけている貴重な斜面緑地が連なっています。

磯子交通安全協会は昭和43年6月に交通安全思想の普及と高揚に努め、交通主務機関に協力をし、交通安全事故防止活動を行い今年で55年目を迎えます。

室井烈会長は、昭和51年7月1日から39年間、磯子交通安全協会交通指導員としてボランティア活動に勤しまれながら、交通安全協会理事、常任理事を歴任し、平成30年6月から磯子交通安全協会会长に就任され現在に至ります。

自転車オートバイ販売店を経営するかたわら、二輪車運転者安全推進のため特別指導員の資格を取得し、児童交通安全教室へも先駆者となり携わって来られました。

この長年の功労が認められ、平成30年1月に「交通安全賞緑十字金章」を受賞されました。

“事故を起こすのは人、何時も過信してはいけない。心の緩みが人命を左右する悲惨な事故に繋がる。”この事を常に意識され、各季を主軸とした交通安全啓発活動をされています。

この活動の一環として、例年7月上旬に「交通安全祈願七夕まつり」を開催しています。

地域のかわいい園児たちが描いた色とりどりの短冊を5メートルほどの竹に付け、磯子警察署正面玄関前に飾ります。雄々しく、風に揺られる七夕飾りの情景は深く心打たれます。

室井会長は、この竹の伐採の為に、早朝から険しい竹藪へ入り、竹を選別されます。その後ろ姿にいつも感服いたします。

今後とも、ご健康に留意され、ますますのご活躍を願っております。

取材協力：磯子交通安全協会

こんにちは「厚木警察署管内交通安全協会」です

当協会は、昭和23年4月に発足し、創設76年目を迎えました。

平成31年1月に住宅地の一角へ移転した厚木警察署敷地内での業務が認められず、周辺の不動産オーナーからは賃貸契約をことごとく断られ、予てから切望していた警察署直近での業務運営をやむなく断念し、約100メートル離れた耐震補強未施工ビル3階にあった新警察署建設準備室退去後をそのまま賃借して業務を再開しましたが、このビルは老朽化した数々の諸問題を抱えていたので、今年4月から4年間という期限付きで警察署から約220メートル離れた現在地(県有建物)へ移転しました。

管内(厚木市・愛川町・清川村)の人口は約27万人、免許保有者は約18万人を数え、東名高速道路、圏央道、国道246号線、129号線、412号線などの幹線道路が縦横して首都圏と直結しており、新東名高速道路の建設も始まっています。また、管内には工業団地などの工場や会社が多数存在し、最近では広大な敷地を利用した物流センターが複数建造され、朝夕は小田急線本厚木駅で乗降する利用者が集中し、人と車の交通流が激しい地域です。現在、交通指導員数は247名、管内20支部に編成された地域を

拠点として、相模川三川合流地点や田代運動公園河川敷において、バーベキューなどを楽しむ家族連れを対象とした飲酒運転根絶のためのハンドルキーパー運動、小学生児童を対象とした安全で正しい歩き方や自転車の基本走行等の交通安全教室、登下校時間帯における交通誘導・街頭監視、鮎まつり・花火大会来場者の交通整理、各種駅伝大会における交通対策など、地域に根ざした各種交通安全活動を強力に展開しています。

その他、交通安全こども自転車県大会へ向けた学科・基本走行・技能走行の訓練指導にも積極的に取り組んでいます。

県下各地区交通安全協会は、現場の声を聞き入れようとしている県施策の煽りを受けて存亡の危機に直面しており、当協会でも先人が永年にわたって築き上げた誇りある伝統と歴史に幕を下ろさなければならぬ終末期まで、職員が一枚岩となって意気盛んに業務に邁進していく所存です。

(辻 記)



こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

## 地区交通安全協会の活動紹介



平塚市

テレビキャスター後藤楽々さんを一日警察署長に迎えた秋の全国交通安全運動キャンペーン



津久井

スーパー・アルプス相模原インター店前における秋の全国交通安全運動キャンペーン



栄

公田交差点における秋の全国交通安全運動「交通事故死0を目指す日」キャンペーン



伊勢佐木

桜木町駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン

## く 交 通 安 全 活 動 く



海老名市

秋の全国交通安全運動、マルイファミリー海老名北側におけるハンドプレート運動



山手

秋の全国交通安全運動、山手警察署前における「交通事故死0を目指す日」キャンペーン



厚木警察署管内

水引交差点における秋の全国交通安全運動キャンペーン



相模原南

相模大野駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

● 内山 功 横浜市南区

● 株式会社 ホンダカーズ横浜 横浜市保土ヶ谷区

● コマツカスタマーサポート株式会社 東京カンパニー営業部東京支店 川崎市川崎区

● 賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

### インフォメーション

- 交通安全国民運動中央大会 1月16日(火) グランドヒル市ヶ谷
- 同表彰式 1月17日(水) 文京シビックホール
- (公財)神奈川県交通安全協会 賀詞交歓会 1月25日(木) ロイヤルホールヨコハマ